

当院で早期大腸がんに対する内視鏡治療を受けられた患者さんへ

当院では、以下の臨床研究を実施しております。この研究は、患者さんの診療情報を用いて行います。このような研究は、厚生労働省・文部科学省・経済産業省の「人を対象とする生命科学・医学系研究に関する倫理指針」の規定により、研究内容の情報を公開することが必要とされております。この研究に関するお問い合わせなどありましたら、以下の問い合わせ先へご照会ください。

研究課題名	当院における早期大腸がんに対する内視鏡的粘膜下層剥離術（Endoscopic submucosal dissection：以下 ESD）と手術加療の状況確認
研究機関	市立旭川病院 外科・消化器内科
研究責任者	吉田雄亮
共同研究者	本吉章嵩、山田徹、本谷康二 稲場勇平、村上慶洋、笹村裕二
研究の目的	当院において、大腸腫瘍（早期大腸癌）の内視鏡治療（ESD）を受けた患者さんの治療成績、並びにその後に外科手術を施行した患者さんの治療成績を検討し、本治療の妥当性と安全性を検討します。
研究の方法	(1) 対象となる患者さん 2015-2020年に当院消化器内科において ESD を施行された患者さんを対象としています。 (2) 利用する情報 カルテ情報から、ESD の偶発症発生率、手術移行率、術後病理結果、リンパ節転移陽性率などを検討します。
研究実施期間	実施許可日～2024年12月31日
個人情報の取り扱い	研究に利用する患者さんの情報に関しては、お名前、住所など、患者さん個人を特定できる情報は削除して管理いたします。また、研究成果は学会・論文で発表されますが、その際も患者さんを特定できる情報は削除して利用いたしません。
※	上記の研究に情報を利用することをご了解いただけない場合は以下にご連絡ください。
問い合わせ先	市立旭川病院（070-8610 旭川市金星町1丁目1番65号） 電話：0166-24-3181(代表) 担当医師：外科 吉田雄亮